

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-264

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・ 研究課題名：左心低形成症候群 (HLHS) とその類縁疾患に対する長期予後を見据えた治療戦略の検討

・ 目的：左心低形成症候群 (HLHS) は左室低形成、僧帽弁低形成、大動脈弁低形成、上行大動脈および大動脈弓の低形成を合併する症候群です。難病に指定されている非常に稀な疾患であり、その病気の原因など詳しいことは分かっていません。近年手術成績は向上しつつありますが、依然として長期予後が芳しいとは言えない状態が続いています。本研究では、本疾患に対して治療を行った患者さんの検査・治療内容などのデータを収集・解析することでより良い治療法を確立することを目的としています。

・ 研究期間：臨床研究IRB承認日～2022年12月31日

・ 研究対象：2007年11月1日～2022年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：手術時の身体所見、心臓カテーテル検査と心臓エコー検査において得られる心血管内圧、血管径、心機能を示すデータ

③ 利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科 教授 鈴木孝明

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科 研究生 瀧上裕司

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター小児心臓外科 教授 鈴木孝明